

団体名(所管課名) さいたまふたご・みつごサークルPeanutsCLUB (地域保健支援課)

事業名 妊娠期からの多胎ファミリー教室

事業の目的 多胎に関する正しい知識や情報、繋がりを得ることで、孤立などの問題を抱える多胎家庭の減少を図り、多胎家庭も楽しく育児ができること

- 事業の目標
- 1、多胎の妊娠、出産、育児に関する正しい知識や情報を提供することで適切な理解と心構えができる。
 - 2、地域の多胎家庭と交流することで、悩み相談、情報交換、友達作りが可能となる。
 - 3、地域保健支援課との協働で事業を開催する事で、市の保健師、専門家、当団体の双方向から多胎家庭を見守る事が可能となる。

該当する所に○をつけてください

| 項目 | 評価の視点 | 評価 | | | 評価理由など |
|--|--|-----------|-----------|--------------|--|
| | | 充分 できた | 概ね できた | 充分では なかった | |
| 1 事業の目的と目標の設定 | 協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。 | ○ | | | 双方の役割について話し合いながら補完する事ができたと感じています。 |
| 2 事業の成果 | 事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small> | ○ | | | 20家庭参加見込みだったが、23家庭の参加があった。 協定書の目標通り、知識、情報、繋がりを得ることで多胎育児をイメージする事ができ、何をどう準備したらよいか分かった、安心感した。といった感想が多く、満足90%、まあ満足10%の効果があった。 |
| | 市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。 | | ○ | | このような事業があることを、市民や、他の多胎家庭にも周知する事ができたため、参加できなかった妊娠中の多胎家庭からも問い合わせが来るようになった。更なる拡大を期待する。 |
| 3 協働事業の効果 | 協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small> | ○ | | | 母子手帳交付時に全ての多胎家庭に対し当事業をご案内して下さったことで保健師からの紹介の参加者が増加した。 当事者の役割をご理解いただくことで、今後の支援について相談させて頂く事ができた。 |
| 4 市民活動団体と担当所管課との連携 | 協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。 | ○ | | | きめ細やかにご対応頂き、安心して取り組むことができた。 |
| 5 事業の適切な取組 | 事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。 | ○ | | | 参加者同士が子供の成長と共に楽しみながら育児をしている様子を伺う事ができた。また、数名の参加者から、いつか支援する側に立ちたいという声もあった。 |
| ★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など | <p>さいたま市内の多胎妊婦さんへの認知も高まったことにより参加者の増加に繋がりを、多胎家庭の不安感や孤立感を防ぐことができたと感じています。</p> <p>リアル開催では地域の多胎家庭と保健師さんが直接繋がりを、情報交換ができるだけでなく、さまざまなメディアに取り上げられ、インパクトを与えることもできたと思います。 オンライン開催では、体調不良や管理入院中の方の参加や、市外からの参加、現地にパパママ、オンラインで祖父母が参加というようにオンラインでの更なる可能性がみえてきました。</p> <p>地域保健支援課が事業へ参画いただくことで、当事者一人一人がもつ悩みを聞いて下さったことや母子保健サービスを紹介する事で利用を検討された家庭が増加したことは安心に繋がりました。 また、打合せや準備の機会を十分に頂けたことで充実した内容を準備する事ができました。</p> <p>今後も引き続き市との協働事業継続を見据え取り組んでいく所存です。</p> | | | | |

令和5年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) **さいたまふたご・みつごサークルPeanutsCLUB(地域保健支援課)** 事業名 **妊娠期からの多胎ファミリー教室**

事業の目的 **多胎に関する正しい知識や情報、繋がりを得ることで、孤立などの問題を抱える多胎家庭の減少を図り、多胎家庭も楽しく育児ができる。**

事業の目標 **(1)多胎の妊娠・出産・育児に関する正しい知識や情報を提供することで適切な理解と心構えができる。
(2)地域の多胎家庭と交流する事で、悩み相談、情報交換、友達作りが可能となる。
(3)地域保健支援課との協働で事業を開催することで、市の保健師、専門家、当団体の双方向から多胎家庭を見守ることが可能となる。**

該当する所に○をつけてください

| 項目 | 評価の視点 | 評価 | | | 評価理由など |
|--|---|-------|-------|----------|---|
| | | 充分できた | 概ねできた | 充分ではなかった | |
| 1 事業の目的と目標の設定 | 協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。 | ○ | | | 評価のとおり |
| 2 事業の成果 | 事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small> | | ○ | | オンライン及び会場参加者アンケートにより、ほぼ100%の満足の結果を得ていた。不安の軽減や友達づくりのきっかけとなることが出来ていたと思われる。 参加人数に関しては、年間の多胎出生数(約100人)に対し少ない参加者数とはなるが、妊婦のコンディションの良い時期には個人差があり、教室開催時期と参加のできるタイミングが限られていることも要因しているため、集団での教室(オンラインも含む)以外の個別支援も合わせた取り組みが必要。個別支援に関しては、伴走型相談支援を実施している区保健センターが主体となるため、本事業においては役割を明確化できていればよいと考える。 |
| | 市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。 | | ○ | | 活性化の評価まで至っていないが、教室の開催や周知をきっかけに、区で実施しているふたごの集いにもアピールすることで、参加へのお誘いができた。 |
| 3 協働事業の効果 | 協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small> | ○ | | | 互いの活動・業務内容の理解や支援方法を学ぶきっかけになっていた。また、両者がそれぞれの得意とする周知・募集をすることによって、SNSや市報、医療機関など、周知エリアを拡大することができた。 |
| 4 市民活動団体と担当所管課との連携 | 協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。 | ○ | | | メールや電話等、その都度、進捗状況を確認していた。 |
| 5 事業の適切な取組 | 事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。 | ○ | | | 評価のとおり |
| ★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など | 相互理解が深まり、互いの活動・事業の範囲を拡大して健康課題に取り組むことが出来たのは、協働での成果と思われる。 | | | | |

様式第7号 (第11条関係)

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和6年3月27日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名

さいたまふたご・みつごサークルPeanuts CLUB

代表者氏名

花俣 美加

令和5年5月15日付け市市協第5-19号で交付決定の通知を受けた令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 交付決定額 | 金 309,260 円 |
| 2 精算額 | 金 273,169 円 |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |

(1) 支出を証する書類

(2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料



令和5年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名 さいたまふたご・みつごサークルPeanuts CLUB

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 多胎ファミリー教室 |
| 実施期間 | 令和5年5月～令和6年3月 |
| 総事業費 | 305,640円（内訳は別添事業収支計算書参照） |
| 内 助成金交付申請額 | 273,169円 |
| 事業の目的 | <p>*計画書の「1現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください。</p> <p>多胎に関する正しい知識や情報、同じ経験をした多胎家庭との繋がりを得ることで、不安、孤立、外出困難、産後鬱、虐待などの問題を抱える多胎家庭の減少を図ること。また、育児の工夫や情報を得たり、先輩多胎ママがロールモデルとなることで多胎育児のイメージがわき、多胎育児に希望をもつことができ、多胎家庭や専門家等の相談先を得られることができる。</p> <p>そして多胎家庭も楽しく育児ができ、子供の健やかな成長に繋がる。</p> |
| | 事業の具体的な内容 |
| いつ | 2023年8月26日（1回目）、2024年2月18日（2回目） |
| どこで | 浦和コミュニティセンター、日本赤十字看護大学大宮キャンパスホール |
| だれに | ふたご、みつご以上の多胎を妊娠中のママとそのご家族全員（パパ、祖父母等） |
| なにを | 多胎妊娠・出産・育児に関する情報、地域の出産・育児支援等 |
| どうし | 上記の情報共有を行った。また同じ地域内での多胎家庭や保健師との交流の場を設けた。 |
| | （詳細な内容）別紙のとおり |
| | 成果 |
| | <p>*事業の結果を表す数値を記載ください（例：参加人数等）。</p> <p>年間合計23家庭の参加があった。</p> <p>【1回目】</p> <p>参加者数 ママ10人、パパ6人、祖母1人、 家庭数 10家庭（会場参加7家庭、オンライン参加3家庭） 市内6家庭、市外4家庭、 キャンセル2家庭（※キャンセルは参加者数に含まれません）</p> <p>【2回目】</p> <p>参加者数 ママ13人、パパ11人、祖母2人、 家庭数 13家庭（会場参加7家庭、オンライン参加7家庭※1家庭はママがオンライン、パパと祖母が会場参加） 市内9家庭、市外4家庭、 キャンセル0家庭</p> |
| 事業の実績 | |

| | |
|-------|--|
| | <p>効果</p> <p>*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。</p> <p>参加者の感想として、</p> <p>「リアルな声・体験が聞けて安心できた。夫にも知ってもらうことができ、今後の産前産後の生活のことをより相談・話し合える。」</p> <p>「多くの体験談を聞くことでいろいろな場面の想定・心構えができたり不安が減って良かった。」</p> <p>「近くに同じ多胎妊娠の方が居ると分かって心強かった事、先輩方の細かいリアルな話がとても参考になった。」</p> <p>など、心構えが出来たり、パパと共有できたことで心強く感じた様子。</p> <p>また、祖母の方からは、「孫を迎える心の準備ができた。娘夫婦が楽しく子育てができるようサポートしてあげたいと改めて思いました。」</p> <p>など、祖母の立場からも具体的にできるサポートを考えるきっかけとなったように感じる。</p> |
| 事業の評価 | <p>*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>課題：8月は、2家庭が体調不良により不参加となった。多胎妊娠中は油断できない状況であること、他市外からの参加も増加したことから次年度はオンラインのみの開催も視野に入れたい。</p> <p>工夫：Mtgの回数を増やし事業の流れやTodoを見える化し次に繋げやすくなった。オンライン配信の際、育児グッズや支援情報の資料を作成し共有することで見やすくなった。</p> <p>良かった点：回を追うごとに参加者が増加したこと。また、市の担当課と協働で進める事で、参加者の信用は勿論、当日も専門的な内容に関して回答いただくなど参加者が心強く感じたと思う。</p> <p>苦労した点：2月は、前日に運営メンバーの3人が子供の体調不良で不参加となったため、代理を立てる事に苦労した。</p> <p>評価：開催後のアンケートで満足が約90%、やや満足が10%であったことから、多胎ファミリー教室の必要性を感じた。また、祖母の参加も増加したことから、祖父母の具体的に必要なサポートを考えて頂くきっかけとなり、本当の意味でのファミリー教室となったと感じた。</p> <p>その後も参加者が事前準備と、産後に工夫しながら多胎家庭同士の繋がりを持ち安心して子育てをしている様子を感じています。</p> |
| 今後の展開 | <p>*この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？</p> <p>*翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>専門的な知見を持つ地域保健支援課と、多胎出産育児経験のある当団体との協働事業の重要性をより一層感じました。</p> <p>そのため次年度も引き続き事業を開催するためにマッチングファンド助成を申請します。次年度は、2回のハイブリッド開催とオンラインだけの開催を目指しています。</p> <p>市と協働する事で、この事業の認知度を当事者だけでなく市民にアピールし、市内の多胎妊娠中の全家庭が参加する事を目指しています。</p> |

| 事業の内容 | | |
|---------|------------|--|
| 実施時期 | 労力換算 番号 | 実施内容 |
| R5.5.17 | 1 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）イベントまでのスケジュール確認 |
| R5.5.18 | 1 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）開催日程候補確認、チラシ・配布資料概要相談 |
| R5.5.27 | 1 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）開催日程決定、チラシ・配布資料内容相談（支援情報、多胎家庭アンケート内容相談） |
| R5.6.2 | 2 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）チラシの構成確認、配布資料（支援情報、多胎家庭アンケート内容構成）、ボランティア募集説明会（目的、内容、個人情報取扱い、傾聴等説明） |
| R5.6.14 | 2 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）チラシの最終確認、配布資料（内容確認、デザイン作成）、事後アンケート内容相談 |
| R5.6.23 | 2 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）事後アンケートの内容相談、申込みフォーム内容相談、SNS情報発信相談、講師依頼文内容確認 |
| R5.7.1 | 3 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）配布資料の内容確認、チラシ発送先の確認、宛名シール準備 |
| R5.7.4 | 3 | 第1回チラシ発送作業 |
| R5.7.10 | 3 | 第1回イベント打合せ開催 （内容）リハーサル準備（必要機器の確認、レイアウト案作成） |
| R5.7.30 | 4 | 第1回イベントリハーサル （内容）PC,使用機器確認、発表内容確認、会場レイアウト相談 |
| R5.8.10 | 5 | 第1回イベントリハーサル （内容）発表内容確認と読み合わせ、配布資料入稿前最終確認、会計・謝金確認、参加者確認 ボランティア調整、託児希望者のアレルギー年齢など詳細情報確認 |

R5.8.26

5 第1回イベント当日と振り返り

(内容) プログラム内容

多胎妊娠出産基礎知識 (日本赤十字看護大学教授)

先輩ママ3名からの体験談、保健師からの母子保健支援紹介、

民間支援紹介、パパの妊婦体験、多胎の便利グッズ紹介、

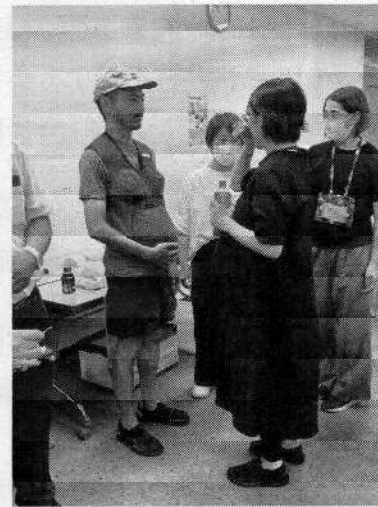
初産婦、経産婦、パパのグループワーク

参加者数 ママ10人、パパ6人、祖母1人、

家庭数 10家庭 (会場参加7家庭、オンライン参加3家庭)

市内6家庭、市外4家庭、

キャンセル2家庭



終了後に当日の振り返りを行った

R5.9.14

6 第1回イベント振り返り

(内容) 改善点、良かった点を洗い出し、会計確認

R5.9.22

6 第1回イベント振り返り

(内容) 次回改善内容のリスト化

R5.10.11

7 第1回イベント振り返り

(内容) 改善内容をスケジューリング

| | | |
|----------|----|---|
| R5.10.16 | 7 | 第2回イベント打合せ (内容) 次回開催日検討、チラシ検討 |
| R5.10.19 | 7 | 第2回イベント打合せ (内容) チラシ(作成、内容確認)、申込みフォーム内容確認 |
| R5.11.10 | 8 | 第2回イベント打合せ(意見交換) (内容) 他団体との意見交換 NPO法人とちぎ多胎ネット様とファミリー教室 開催内容について地域の特徴や内容、工夫、効果等に関する意見交換会 |
| R5.11.17 | 8 | 第2回イベント打合せ・次年度打合せ (内容) 意見交換を参考にファミリー教室に反映できる内容を検討、次回マッ チングファンド助成事業申請について方向性検討 |
| R5.11.18 | 8 | 第2回イベント打合せ・次年度打合せ (内容) 妊婦が体調不良になった場合の対応について検討、次回マッチング ファンド助成事業内容の枠組みを検討(今年度を踏まえ更にステップアップす るために必要な内容とは) |
| R5.12.9 | 9 | 第2回イベント打合せ (内容) チラシ送付先検討、封入部数確認 |
| R5.12.10 | 9 | 第2回イベントチラシ発送作業 |
| R5.12.13 | 9 | 第2回イベントチラシ発送作業 |
| R5.12.14 | 9 | 第2回イベント打合せ (内容) 発表内容検討、必要物品確認、配布資料の支援情報内容確認、担当決 め、 ボランティア募集説明会(目的、内容、個人情報取扱い、傾聴等説明) |
| R5.12.18 | 9 | 第2回イベント打合せ (内容) 事後アンケート確認、来賓検討、講師依頼文確認 |
| R6.1.8 | 10 | 第2回イベント打合せ (内容) 会場レイアウト相談 |
| R6.1.15 | 10 | 第2回イベント打合せ (内容) 発表内容相談、会計・謝金確認 |
| R6.1.21 | 10 | 第2回イベント打合せ (内容) 発表内容相談、展示物品の説明内容確認 |
| R6.1.26 | 10 | 第2回イベント打合せ (内容) 発表内容確認と読み合わせ、展示物品の説明内容確認 |
| R6.2.9 | 11 | 第2回イベント打合せ (内容) 発表内容確認と読み合わせ、参加者確認、ボランティア調整、託児希 望者のアレルギー年齢など詳細情報確認、謝金・会計確認 |
| R6.2.10 | 12 | 第2回イベントリハーサル |

R6.2.15

11 第2回イベント打合せ

(内容) 直前で家族が体調不良のため発表者交代のため、発表者の交代、資料作成、発表内容相談

R6.2.17

12 第2回イベントリハーサル

R6.2.18

12 第2回イベント当日

(内容) プログラム内容

多胎妊娠出産基礎知識 (日本赤十字看護大学教授)

先輩ママ3名からの体験談、保健師からの母子保健支援紹介、

民間支援紹介、パパの妊婦体験、多胎の便利グッズ紹介、

参加者数 ママ13人、パパ11人、祖母2人、

家庭数 13家庭 (会場参加7家庭、オンライン参加7家庭

※1家庭はママがオンライン、パパと祖母が会場参加)

市内9家庭、市外4家庭、

キャンセル0家庭



終了後に当日の振り返り、SNS掲載に関する打合せを行った

R6.2.21

11 第2回イベント振り返り

(内容) 改善点、良かった点を洗い出しリスト化、会計確認

| | | |
|---------|----|--|
| R6.2.24 | 11 | 第2回イベント振り返り (内容) 次回改善内容のリスト化 |
| R6.2.25 | 11 | 次年度打合せ、報告書内容確認 (内容) 次年度目標確認、報告書内容確認 |
| R6.3.2 | 13 | 次年度打合せ、報告書内容確認 (内容) 事業計画、報告書内容確認 |
| R6.3.10 | 13 | 次年度打合せ、報告書内容確認 (内容) 参考資料内容相談、HP掲載内容相談 |
| R6.3.13 | 13 | 次年度打合せ、報告書内容確認 (内容) 参考資料内容相談、担当決め |

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

| 区分 | 算出根拠 | 金額 |
|------------------------------|----------------|-------------------|
| 収入合計 (A) | (a) + (b) | 305,640 |
| 自己資金額 (a) | ①～⑥の合計 (d) と同額 | 32,471 |
| 団体の自己資金 | ① 自己拠出金 | 9,471 |
| 費用の徴収 | ④ 参加費 | 1000円×(10家庭+13家庭) |
| | ⑤ | |
| | ⑥ | |
| 助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内) | (c) と同額 | 273,169 |

<支出>

| 区分 | 算出根拠 | 金額 | |
|---------------------------------|----------------|--|---------|
| 支出合計 (総事業費) (B) | (c) + (d) | 305,640 | |
| 助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費 | ① 謝金・報酬 | 講師2万円×2回、5千円×1回、多胎経験発表者5千円×2回、託児スタッフ4千円×9名、多胎サポートスタッフ4千円×11名 | 135,000 |
| | ② 旅費 | ファミリー教室スタッフ17名分 | 27,904 |
| | ③ 消耗品費 | 参加者用教材冊子、封筒、宛名シール等33,651円のうち助成金充当分 | 33,000 |
| | ④ 印刷製本費 | チラシ、配布用冊子等37,412円のうち助成金充当分 | 36,400 |
| | ⑤ 役務費 (通信運搬費等) | チラシ、配布用冊子等郵送代 | 20,405 |
| | ⑥ 賃借料 | 日赤ホール、浦和コミセン会場費22,100円のうち助成金充当分 | 9,100 |
| | ⑦ 使用料 | 駐車場代、Wi-Fiレンタル料14,469円のうち助成金充当分 | 8,000 |
| | ⑧ 保険料 | ボランティア行事保険1,680円×2回 | 3,360 |
| | ⑨ | | |
| | ⑩ | | |
| 助成金充当経費計 (c) | ①～⑩の合計 (b) と同額 | 273,169 | |
| 助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費 | ⑪ 賃借料 | 日赤ホール、浦和コミセン会場費22,100円のうち助成金を上回る分 | 13,000 |
| | ⑫ 消耗品費 | 参加者用教材冊子、封筒、宛名シール等33,651円のうち助成金を上回る分 | 651 |
| | ⑬ 印刷製本費 | チラシ、配布用冊子等37,412円のうち助成金を上回る分 | 1,012 |
| | ⑭ 使用料 | 駐車場代、Wi-Fiレンタル料14,469円のうち助成金を上回る分 | 6,469 |
| 助成対象外経費 | ⑮ ZOOM使用料 | 5ヶ月分 | 11,339 |
| | ⑯ | | |
| | ⑰ | | |
| | ⑱ | | |
| ⑲ | | | |
| ⑳ | | | |
| 自己資金充当経費計 (d) | ⑪～⑳の合計 (a) と同額 | 32,471 | |

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。